

2020年5月期 第1四半期 決算概要

- 売上高は前期に一部子会社の決算期変更による売上計上があったことから、その影響を除くとほぼ横ばいではあるものの79,626百万円（前年同期比 4.1%）と減収
- BPO サービス、アウトソーシング、地方創生ソリューションは増収
エキスパートサービス（人材派遣）は前期に派遣スタッフの派遣先企業への直接雇用を推進したことで稼働者数が前年同期を下回る状況からスタートし減収
- 売上総利益は多くのセグメントで粗利率の改善が見られ18,270百万円（同+1.2%）と増加
営業利益は1,243百万円（同 14.4%）
- ベネフィット・ワン株式の一部売却を行ったため、営業外費用に株式売却時の手数料が計上されており、経常利益は930百万円（同 23.9%）
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は46百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失7百万円）

1. 第1四半期連結業績（2019年6月1日～8月31日）

（百万円）

	2019年5月期1Q	2020年5月期1Q	増減	増減率
売上高	82,997	79,626	△3,370	△4.1%
売上総利益 (売上比)	18,051 21.7%	18,270 22.9%	+218 +1.2pt	+1.2%
販売費及び一般管理費 (売上比)	16,599 20.0%	17,026 21.4%	+427 +1.4pt	+2.6%
営業利益 (売上比)	1,451 1.7%	1,243 1.6%	△208 △0.2pt	△14.4%
経常利益 (売上比)	1,222 1.5%	930 1.2%	△291 △0.3pt	△23.9%
親会社株主に帰属する四半期純損益 (売上比)	△7 -	46 0.1%	+54 -	-

2. セグメント別連結業績（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	前年同期比		営業損益	前年同期比	
エキスパートサービス（人材派遣）	38,011	△5,614	△12.9%	1,515	+522	+52.7%
BPO サービス（委託・請負）	23,765	+986	+4.3%			
HR コンサルティング、教育・研修、その他	2,032	△64	△3.1%			
グローバルソーシング（海外人材サービス）	2,060	+98	+5.0%	125	△51	△29.1%
キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）	3,616	△205	△5.4%	686	△167	△19.6%
アウトソーシング	8,679	+915	+11.8%	1,916	+241	+14.4%
ライフソリューション	1,527	+172	+12.7%	△12	△30	-
地方創生ソリューション	815	+272	+50.2%	△517	△141	-
消去又は全社	△882	+68	-	△2,470	△581	-
合計	79,626	△3,370	△4.1%	1,243	△208	△14.4%

*当第1四半期連結会計期間より、「インソーシング（委託・請負）」を「BPO サービス（委託・請負）」に、「パブリックソリューション」を「地方創生ソリューション」にセグメント名称を変更。あわせて一部子会社のセグメント区分を変更。また「グローバルソーシング」の営業利益を個別開示。前年同期比については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

主要セグメントの増減理由

エキスパートサービス	前期に派遣スタッフの派遣先企業への直接雇用を進め、当期は稼働者数が前年を下回る状況からのスタート。各種施策により登録者数は維持。オペレーションの構造改革とデジタル化を推進。
BPOサービス	業務の効率化や人材に関わる管理コストの軽減、専門性を求めて業務をアウトソーシングするニーズが広がる。ピーウィズ㈱は6月からAIを活用したオペレーターの対応評価の全件自動化を開始。
グローバルソーシング	派遣事業やBPO案件が伸長し増収。インドネシアのDGS ¹ やベトナムが引き続き好調。国内では外国籍人材定着支援サービスを開始し、6月に淡路ダナンセンターを開設するなど体制整備。
キャリアソリューション	人材紹介事業は経験豊富な専門人材が顧問として活躍する「顧問ネットワーク」が伸長。再就職支援事業は、足元受注は堅調だが、前期下期の受注が少なかったことから売上の伸びは抑制。
アウトソーシング	福利厚生事業、ヘルスケア事業、インセンティブ事業が順調に拡大。「福利厚生」「健康経営」「教育・研修」をワンストップで提供する新商品をリリース。

¹ PT. Dutagriya Sarana (デュータグリヤ サラナ)

3. 財政の状況

(百万円)

	2020年5月期 1Q末	前期末比		増減要因
		増減	増減率	
流動資産	79,227	△1,089	△1.4%	受取手形及び売掛金の減少 2,078 百万円、 有形固定資産の増加 1,226 百万円、 流動資産のその他に含まれる前払費用の増加 752 百万円等
固定資産	40,032	+890	+2.3%	
資産合計	119,260	△199	△0.2%	
流動負債	55,957	△3,159	△5.3%	買掛金の減少 2,671 百万円、 短期借入金の減少 3,135 百万円、 未払費用の増加 1,365 百万円等
固定負債	18,494	△1,594	△7.9%	
負債合計	74,452	△4,753	△6.0%	
純資産合計	44,807	+4,553	+11.3%	親会社株主に帰属する四半期純利益 46 百万円、 子会社株式の一部売却による増加 5,956 百万円、 非支配株主持分の減少 843 百万円、 配当金の支払 712 百万円等
自己資本比率	28.3%	+4.5pt		

4. 2020年5月期(2019年6月1日~2020年5月31日)連結業績予想

当第1四半期の業績は概ね計画通りに推移しているため、2019年7月12日に公表した業績予想を据え置きます。

(百万円)

	上期	前年同期比	下期	前年同期比	通期	前期比
売上高	168,000	+2.0%	176,000	+8.4%	344,000	+5.2%
営業利益	4,000	+7.2%	7,000	+22.1%	11,000	+16.2%
経常利益	3,600	+1.7%	7,100	+24.6%	10,700	+15.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	400	△36.6%	1,900	+41.3%	2,300	+16.4%

四半期ごとの連結業績およびセグメント別業績データは <https://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載します。

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。